

— 第6期生募集 —

申込期限

2026(令和8)年3月27日(金)

ふくし未来塾

「全社協 福祉ビジョン2025」推進事業

令和時代の共生社会を創造する

トップリーダーをめざして

ふくし未来塾

次世代の社会福祉法人の経営人財を育成する

2040年に向け、超高齢社会、少子化、人口減少が大きく進むとともに地域住民の生活課題が多様化・複雑化し、一層厳しさを増しています。こうした背景を踏まえ、全国社会福祉協議会が実施する「ふくし未来塾」では、社会福祉の制度の枠を超え地域コミュニティにおいて共生社会の創造ならびに、多様性と包摂性のある社会づくりをけん引する、社会福祉法人のトップリーダー・経営人財を育成します。

ふくし未来塾

福祉の価値(人間の荘厳さ)

II

倫理的価値観/人間力

社会福祉の
知識・技術

経営、管理運営
(マネジメント)

「ふくし未来塾」の理念

「全社協福祉ビジョン2025」がめざす「ともに生きる豊かな地域社会」を実現するために、社会福祉法人のトップリーダー・経営人財の育成を見据えて、社会が必要とする社会福祉実践の理論と実学とともに、実務家の資質に必要とされる倫理的価値観の形成と人間力を涵養することを本塾の理念とします。

第6期塾生募集要項

全国社会福祉協議会

<https://www.gakuin.gr.jp/training/miraijuku/>



カリキュラム

I 前期プログラム

① 開講式・キックオフミーティング

(2026(令和8)年6月5日(金)～7日(日) ※2泊3日の合宿(集合)研修)

ともに学びあう第6期全塾生が中央福祉学院(ロフォス湘南)に会し、ふくし未来塾でめざすものについて、受講者同士、また指導講師との対話から意識醸成を図る。

※開講式・キックオフミーティング前の期間でオンラインにてゼミ生の紹介、オリエンテーションを実施します。

② ふくし未来演習Ⅰ

(2026(令和8)年8月9日(日)～11日(火) ※2泊3日の合宿(集合)研修)

演習テーマ「公益・利他を追求し、ともに生きる豊かな地域社会をつくる」

※再度全塾生が中央福祉学院(ロフォス湘南)に会し、塾生が主体的に塾生同士での討議を重ねる。

① 自法人組織の歴史と福祉サービス(自己分析・理解)の現状と課題

自組織の過去～現在を振り返り、現状の経営課題と事業をもとに、果たすべき法人のミッション(使命・役割・存在意義)と未来を展望する。

② 公益・利他の追求(新たな事業経営の創造)

自組織と地域社会の分析を通し、社会福祉法人経営における福祉の価値を体現する新たな事業経営の創造に向けた行動指針(ビジョン、取り組み事項)を具体化し、公表する。

③ 全体発表、ふりかえり

塾生それぞれの発表により、指導講師、塾生間での全体共有、実践のふりかえりをします。

講義の様子



③ 第5期生修了論文発表会

(第53回国際福祉機器展(H.C.R.2026)公開セミナー 2026(令和8)年10月7～9日のうち1日)

① ふくし未来塾(第5期)修了生の発表

② ふくし未来塾 修了生の活動報告

II 後期プログラム

■ ふくし未来演習Ⅱ

(2026(令和8)年8月～2027(令和9)年1月)

オンライン演習を定期に開催(1回あたり120分程度)

全7回 第1回～第3回 ふくし未来を創造する修了論文のテーマについてディスカッション、指導等

第4回～第7回 同上、ならびに中間発表会

Ⅲ 通期プログラム・講義受講

受講期間を通じて自学自習により学びを深めます。

「ふくし未来塾」の理念・目的の達成のために、対面・オンデマンド動画による講義を体系的に学習します。

講義テーマ・講師（敬称略）

■ 特別講義（対面講義）

○ふくし未来塾生に期待するリーダー像 全国社会福祉協議会 会長 村木 厚子

■ 基幹課程（オンデマンド動画）

（1）社会福祉の歴史と実践

○先人に学ぶ社会福祉実践 敬心学園 参与 蟻塚 昌克

（2）令和時代の社会福祉法人のミッションとは

○地域を守り抜く社会福祉法人～未来志向の経営～

全国社会福祉法人経営者協議会 会長 / 社会福祉法人南山城学園 理事長 磯 彰格

○福祉の未来を担う人たちに 神奈川県立保健福祉大学 名誉教授 山崎 美貴子

○福祉サービスの質と権利擁護 全国社会福祉協議会 中央福祉学院 主任教授 山下 興一郎

（3）さらなる社会経済と福祉の変化への対応

○超高齢化社会と地域包括ケアの課題 ～制度利用の権利性担保をみすえて～
和洋女子大学 教授 岸田 宏司

○こどものこころと育ち 北海道大学 名誉教授 田中 康雄

○生活困窮者自立支援と地域共生社会 中央大学 教授 宮本 太郎

○コミュニティ形成と社会福祉法人の公益性 ～経済学の視点を織り交ぜて～
淑徳大学 教授 芹澤 高斉

（4）これからの社会保障、福祉政策を展望する

○人口減少、超少子高齢化社会とは 読売新聞 猪熊 律子

○全世代型社会保障の展望 全国社会福祉協議会 中央福祉学院 学院長 清家 篤

■ 実践課程 地域社会と社会福祉法人実践の展開（対面講義）

・ふくし未来塾 修了生の実践取り組み

■ 発展課程（オンデマンド動画）

「弛まぬ知的探求が成し得る実践」

○地域共生社会実現のためのフレームワークと取り組み課題
早稲田大学 理事・法学学術院 教授 菊池 馨実

○地域づくりと社会福祉法人のミッション
社会福祉法人佛子園 理事長 雄谷 良成

○今アジアでは～国際交流・協力の道筋～

全国社会福祉協議会 アジア社会福祉従事者研修 修了生 セートウンガ プラサード（スリランカ）



※登壇者、講義テーマは変更となる可能性があります

Ⅳ 修了論文

さらなる学びと実践をめざして

ふくし未来演習Ⅰ、ふくし未来演習Ⅱおよび通期プログラム等での研鑽を経て、塾生としての学びの集成であると同時に、今後の実践の起点ともなる修了論文を提出します。修了論文は、「ふくし未来演習Ⅰ・Ⅱ」の指導教授の講師が論文指導を行います。

1年間の学びのスケジュール（予定）

年 月	内 容
2026 年 ～3月	・ 受講申込（業務経験・志望動機も提出） ・ 受講決定
4月	・ オリエンテーション（オンライン）
5月	・ 開講式・キックオフミーティングに向けた事前課題提出（下旬） ・ オンデマンド動画講義受講＜基幹課程（1）（2）＞
6月	・ 開講式・キックオフミーティング （2026（令和8）年6月5日～7日 合宿集合研修） ・ ふくし未来演習Ⅰに向けた事前課題提出 ・ オンデマンド動画講義受講＜基幹課程（3）（4）＞
8月	・ ふくし未来演習Ⅰ（2026（令和8）年8月9～11日 合宿集合研修） ・ オンデマンド動画講義受講＜発展課程＞
8月 ～1月	・ ゼミ（オンライン）全7回程度
10月	・ 第5期生修了論文発表会（第53回国際福祉機器展（H.C.R.2026）公開セミナー ※ 2026（令和8）年10月7～9日のうち1日）
2027 年 2月	・ 修了論文提出
3月	・ 修了



アドミッションポリシー（本塾が求める人材）

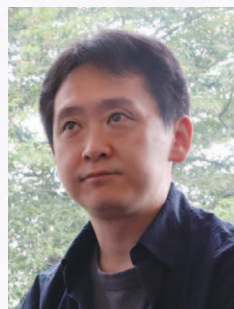
- 社会福祉法人の次世代のトップリーダー・経営人財をめざす社会人
- 社会福祉法人組織で新たな事業経営と福祉実践の創造を通じて、キャリアアップをめざす社会人
- リーダーシップを備え、社会福祉の総合性と専門性の学びを追求し、福祉の価値（人間の荘厳さ）を体現する高度な経営者をめざす社会人

- **受講期間** 2026（令和 8）年 4 月から 2027（令和 9）年 3 月まで
- **定 員** 30 人
- **入塾資格** 社会福祉法人の役職員であって、法人からの推薦があること
※または全社協構成団体の会員法人の役職員で、法人からの推薦があること
- **応募方法** 受講申込書および「福祉関係の業務経験、志望動機ならびに本塾の学びをどういかしたいか（800 字以内）」を記入の上、お申し込みください。
「ふくし未来塾」の理念、アドミッションポリシー（本塾が求める人材）を踏まえ、本会において選考を行います。
- **受 講 料** 119,900 円（消費税等込）
※合宿形式（開講式・キックオフミーティング、ふくし未来演習Ⅰ）、修了論文発表会等出席にかかる交通費、宿泊費・食事代等に要する費用は別途各自の負担とします。
- **指導教授** 全国社会福祉協議会 中央福祉学院 主任教授 山下 興一郎
淑徳大学 教授 芹澤 高斉
- **修了要件** 動画視聴レポートの提出、「キックオフミーティング」と「ふくし未来演習Ⅰ（集合研修）・Ⅱ（オンラインゼミ演習）」の履修、修了論文の提出・合格
- **主 催** 社会福祉法人全国社会福祉協議会
- **運営協力** 全国社会福祉法人経営者協議会
全国社会福祉法人経営青年会
全社協社会福祉施設協議会連絡会



本塾修了後、志をもって活躍するリーダーたち ～ 修了生からの声 ～

社会福祉法人 奥州いさわ会
小原 守
(第1期修了生)



【修了論文テーマ】

胆沢(いさわ)の大地から
未来へ！

～ 人と人、人と自然をつなぐ「いさわ型共生社会」の実現を目指す ～

【受講にあたっての感想】

私はこの塾でたくさんの仲間と出会い、自分自身の世界が大きく広がりました。ふくし未来塾での学びが、ワクワクする地域を社会福祉法人が創造していくための実践につながっています。ぜひ、私たちと一緒に福祉の未来をつくりましょう！

社会福祉法人 長生会
久保山 久美
(第2期修了生)



【修了論文テーマ】

地域を知り、地域と繋が
り、福祉人になるための
取り組み

～ “かたろうベンチ” を実現するために ～

【受講にあたっての感想】

私はふくし未来塾に参加して、本当の意味での“福祉人”としてスタートがきれたと感じています。福祉の素晴らしさをともに語り合える仲間に出会えたことは一番の財産です。皆さんもふくし未来塾にチャレンジしてみてください！

修了後に期待する姿

- 人や地域とかわかり、自らの力で道を切り拓くリーダーになる
- 全国の仲間と福祉の未来を創造するクリエイターになる
- 自組織の特徴と魅力の理解とともに、地域社会の課題を捉え、自己覚知のもとで実践の展開を企画する
- 社会福祉法人が取り組む事業を公益と利他を追求する視点で考え、行動する

申込・お問い合わせ先

社会福祉法人全国社会福祉協議会 中央福祉学院

〒240-0197 神奈川県三浦郡葉山町上山口 1560-44

TEL.046-858-1355 FAX.046-858-1356



詳細は WEB サイトをご覧ください

<https://www.gakuin.gr.jp/training/miraijuku>

